

# みんなと 取り組もう！SDGs

SDGsは、「誰一人取り残さない」という考え方のもと、日本を含む193の国連加盟国によって採択され、全世界で2030年までに達成することを目指した17の目標です。

大野市におけるSDGsの取り組みの輪を広げていくため、県の「ふくいSDGsパートナー」に登録（令和4年11月時点）している市内の企業、学校、団体などのSDGsの取り組みを紹介します。

SDGsを身近な目標としてとらえ、家庭や職場、地域でできることに積極的に取り組んでいきましょう。

**1 貧困をなくそう**

## 大野市

### 「もったいない“を”ありがとう”に フードドライブ」

家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉団体、施設などを通じて必要としている人に寄付する「フードドライブ」を実施しています。持ち寄り場所の市役所、各公民館、県民せいきょう大野きらめきなどで集めた食品などを、児童養護施設等へ提供しています。



**2 飢餓をゼロに**

## 株式会社 ハッピーライフ

### 「安心・安全な学校給食を提供」

地元の学校給食調理業者として、異物混入対策の実施や、調理手順などのマニュアルを整備し、安全・安心な“食”を提供しています。自然由来の石鹸や省エネ効果のあるLED照明の使用により、環境にやさしい取り組みも行っています。



**3 すべての人に健康と福祉を**

## 社会福祉法人 希望園

### 「障害者福祉について学ぶ機会を提供」

インターンシップや学生ボランティアの受け入れを通じて、障害者福祉について学ぶ機会を提供しています。また、他団体などと連携して、福祉の魅力を広く知っていただく取り組みにも取り組んでいます。



**4 質の高い教育をみんなに**

## 有終南小学校

### 「オリジナルゲームで楽しくSDGsを学ぶ」

SDGsへの興味・関心を高めるため、異学年との明るい雰囲気の中、班のメンバーで協力して、「海をよごすな」「再利用して地球を豊かに」などの工夫したオリジナルのゲームを考え、楽しみながらSDGsを学ぶ機会を持つように努めています。



## 有終東小学校

### 「みんなのために ボランティア活動」

学級ボランティアとして、全学級が、学校の近くにある公園のごみ拾いや落ち葉清掃など、みんなのためにできるボランティア活動に取り組んでいます。



## 下庄小学校

### 「学びの土台の育成 フリートーク」

児童会活動など、あらゆる教育活動の中でフリートーク（話す、聴く、つなぐことを意識して、指名なしで思いや考えを伝え合い学びを深める活動）に取り組んでいます。予測困難な時代の中でも自分たちを高め合い、解決に向かって進んでいける力を育成するために、協同的な学びに挑戦しています。



## 富田小学校

### 「みんなにできるSDGsの取り組みを紹介 富田SDGsプロジェクト」

「低学年はSDGsについて何をすべきか分からないかもしれない」という意見から、6年生が「給食を残さず食べよう」や「物を大切に使い、ごみを減らそう」などの身近にできるSDGsを考え「富田小SDGs17の目標」を作り、これを全校で紹介して、全児童が実践を心掛けています。



**5 ジェンダー平等を  
実現しよう**

## 株式会社 サカエ広告

### 「女性活躍の推進と業務環境の見直し」

社員が働き続けられる職場であることが重要と考え、看板製作部門において女性を積極的に採用し、管理職登用や福利厚生の実施に取り組んでいます。また、2023年より完全に土日祝日を休日とするなど、誰もが働きやすい環境づくりに努めています。



**6 安全な水とトイレ  
を世界中に**

## 株式会社 マエガワ

### 「水環境・節水等に関心をもち、環境に配慮した製品を使用」

社員一人一人が水環境・節水等に関心をもち、顧客に対して環境に配慮した製品を勧めるなど、SDGsを意識して仕事に取り組んでいます。



## 大野市

### 「湧水文化の継承 本願清水イトヨの里」

本願清水イトヨの里は、天然記念物「本願清水イトヨ生息地」を地域の貴重な財産として保護しています。イトヨ観察会などを開催し、イトヨの生態を観察することで、多くの人に水環境の保全や湧水文化について考える機会を提供しています。



**7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに**

## 福井小水力利用推進協議会

### 「再生可能エネルギー“小水力発電”の利用

地域に眠っているエネルギー資源である小水力発電について、学校や子供会などに実験や体験活動を行うなど出前講座を行っています。また、小水力発電を活用し、里山里川の保全や暮らしの維持や活性化に役立てようとする地域の取り組みを支援するため、地域での学習会や各種調査のお手伝いも行っています。



**8 働きがいも  
経済成長も**

## 石森電通システム 株式会社

### 「働きがいのある職場環境づくり」

働きやすい環境を作るため完全週休二日制の導入や、有給休暇を取得しやすい職場環境を作っています。また、健康管理推進の一環として、スポーツジムと契約し、従業員は無料で利用することができたり、従業員の禁煙にかかる外来費用を会社が負担したりしています。



## 大野商工会議所

### 「事業所への支援やイベントの実施」

市内事業所に対する支援として、各種セミナーを開催しています。産業と食彩フェア、越前おおのでっ羊かんまつりを実施することで、イベントを通じて市民等に参加してもらい、住み続けられるまちづくりに貢献しています。



## 株式会社 桐林組

### 「若手社員の資格取得を応援」

若手社員のキャリアアップ支援として、資格取得にかかる費用を会社が負担し、ずっと働き続けることができる職場環境づくりに努めています。



**9 産業と技術革新の  
基盤をつくる**

## 株式会社 タニコーテック

### 「持続可能な未来のために 環境にやさしい製品の開発」

調理油の使用量や廃油の削減、二酸化炭素(CO2)排出削減など環境に配慮した製品や、レアメタルを削減するため、ステンレス材料などを使用した製品を開発しています。



**10 人や国の不平等  
をなくそう**

## 社会福祉法人 大野和光園

### 「働き方改革と 多様な雇用に対する職場環境づくり」

働き方改革に取り組み、年次有給休暇や育児休業等の取得を促進しています。また、外国人技能実習生を雇用し、大野和光園福利厚生センターにて快適に暮らせる環境を整えることで、働き続けられる職場環境づくりに努めています。



11 住み続けられるまちづくりを



### 株式会社 森尾組

#### 「交通安全活動に協力 カーブミラー磨き」

地域の小中学校での交通安全指導や、駅前にて交通安全啓発活動に取り組んでいます。地区のクリーンアップ作戦に合わせ、工事現場や現場事務所周辺のごみ拾いを行っています。また、地域の人たちと一緒に冬の間汚れてしまったカーブミラー磨きなどを行っています。

### 阪谷小学校

#### 「“阪谷の宝”を発信しよう」

星空保護区認定に向けてのPR活動、学校の田畑で収穫した米や野菜を必要とする所への提供、阪谷地区の施設・名所をまとめた冊子の配付などを行っています。学校が地域をつなぐ架け橋となり、阪谷や大野の魅力を学び、広げ、守る活動に取り組んでいます。



12 つくる責任 つかう責任



### 有限会社 木村商店

#### 「資源について考えよう アルミ缶リサイクル」

小中学校にアルミ缶回収ボックスを設置し、家庭から持ち込まれたアルミ缶を回収しています。プレス機で圧縮し再資源化する現場の見学を受け入れることで身近に「資源」を考える機会を児童・生徒に提供しています。

### 横町編集部

#### 「アップサイクルにチャレンジ 持ち寄りマルシェ」

関西大学の学生が中心となり「持ち寄り日」というマルシェを定期的に行っています。商品を売るだけでなく、限られた資源をみんなが享受できるような仕組みと運営にチャレンジしています。日用品やトートバック、古着、軽食などが持ち寄られ、毎回多くの参加者で賑わっています。

### 上庄小学校

#### 「ごみの減量化 ミミズコンポスト」

ミミズコンポストで、生ごみの堆肥化に取り組んでいます。児童が当番制で、ミミズに給食調理で出た野菜くずを与え、ごみ減量の過程を観察することにより、工夫してごみを減らすことの意識づくりにつなげています。

### 株式会社 芦見屋

#### 「商品の販売方法を工夫 食品ロスの削減」

店内に食品ロスの削減を呼びかける啓発ポスターの掲示したり、季節イベント時に、割引特典付きの事前予約を受け付けたりすることで、売れ残りによる食品ロスの削減につなげています。



13 気候変動に具体的な対策を



### 大野市

#### 「ゼロカーボンシティの実現に挑戦 エコライフの普及啓発」

2050年までに、二酸化炭素(CO2)実質排出量ゼロにする「ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言し、市民、事業者、団体と脱炭素型のまちづくりを進めています。普及啓発活動として、地球温暖化対策のためのエコライフを子どもたちが楽しく学べるようEco落語、Eco紙芝居や親子エネルギー体験教室などを行っています。

### 株式会社 昇竜

#### 「荷造包装の脱プラスチック化」

プラレジ袋を植物由来の原料を配合した素材に、プラ緩衝材を紙の素材に変更するなど荷造包装関係資材の脱プラスチック化を進めています。



14 海の豊かさを守ろう



### フェンテ奥越 FC スポーツ少年団

#### 「もりみずカップ少年サッカー大会の開催」

山の子も海の子も九頭竜川水系のもたらす恵恩に感謝し、豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身や健全な発育を図るため、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、試合を通じて相互の親善を深めるとともに、個人技術の上達を図っています。



### 大野市ほか

#### 「環境保全活動 越前おおのエコフィールド」

森林の多面的機能などの維持を図るため、事業所、団体、小学校、市が、どんぐりから苗木を育て豊かな森をつくる活動に取り組んでいます。小学校でクヌギ、ミズナラなどの苗木を育て、それらをみんなで「どんぐり広場」で大きくし、山へと植えています。

### 越前信用金庫

#### 「環境保全活動に寄附 SDGs応援定期預金の取扱い」

越前おおのエコフィールド事業など、環境保全活動に役立ててもらうことを目的に、SDGs応援定期預金を販売し、契約残高に応じ、自治体に寄附しています。



16 平和と公正をすべての人に



### 大野市

#### 「安全で安心なまちづくり 防犯パトロール」

犯罪や事故のない安全で安心な町を目指して、防犯隊による青色防犯パトロールや大野市安全で安心なまちづくり推進会議による校区内夜間防犯パトロール、量販店での啓発活動などを行っています。



17 パートナーシップで目標を達成しよう



### 大野市

#### 「市と企業等が協力して課題を解決 連携協定」

市が抱えるさまざまな地域課題の解決に向け、企業や団体、大学と連携協定を締結し、それぞれの強み・特性を活かしながらお互いに協力して取り組んでいます。



#### 「ふくいSDGsパートナー 未来へつづく福井」をつくる事業をバックアップします



福井県では、SDGsの理念に沿いながら、持続可能な地域づくりを県全体として進めるため、企業や団体、教育・研究機関、NPO、自治体などの多様な主体が参画する官民連携プラットフォーム「福井県SDGsパートナーシップ会議」を設置しています。「ふくいSDGsパートナー」登録制度は、このプラットフォームに参加する企業・団体等を登録・PRするもので、各パートナーがSDGsの達成に資する活動を主体的に実践するとともに、ネットワークを活用して活動の幅を広げることを目指しています。

詳しくはこちら



大野市内のふくいSDGsパートナー登録団体等一覧 (令和5年1月末現在登録分) ※五十音順  
株式会社芦見屋、井尾建設株式会社、幾山建設株式会社、石森電通システム株式会社、株式会社泉建設、越前信用金庫、大野建設工業株式会社、有限会社木村商店、株式会社桐林組、株式会社建世、株式会社サカエ広告、三光産業株式会社、サンベース株式会社、株式会社昇竜、大南建設工業株式会社、株式会社高茂組、有限会社高茂重機、株式会社タニコーテック、忠南環境株式会社、株式会社長崎組、株式会社西日本開発、株式会社ハッピーライフ、株式会社福井グリーンパワー、株式会社マエガワ、前田電気株式会社、真名川株式会社、株式会社森尾組、株式会社安間鉄工所、横田建設株式会社、大野市有終西小学校、大野市有終南小学校、大野市有終東小学校、大野市小山小学校、大野市下庄小学校、大野市上庄小学校、大野市阪谷小学校、大野市富田小学校、大野市開成中学校、大野市陽明中学校、大野市上庄中学校、大野市尚徳中学校、大野市和泉小学校、社会福祉法人いとよ保育園、大野商工会議所、公益社団法人大野青年会議所、社会福祉法人大野和光園、社会福祉法人希望園、フードヘルス石塚玄塾、フェンテ奥越FCスポーツ少年団、福井小水力利用推進協議会、横町編集部  
問い合わせ先 福井県地域戦略部未来戦略課 TEL0776-20-0759

#### 出前講座のご案内

市職員が講師となって、皆さんのもとへ出向き、SDGsを分かりやすく解説します。事業所や団体の研修などでお気軽にご利用ください。下記のどちらかを選択し、専用フォームか電話(※)でお申し込みください。

- 講座① SDGs講座(座学)  
対象者 事業所、団体、学校など  
所要時間 約30分
- 講座② SDGsカードゲーム(参加型)  
対象者 事業所、高校生以上の団体  
必要人数 6~48人  
所要時間 約3時間



受講者には、大野市産バナナ材を使用したSDGsバッジをプレゼント！  
問い合わせ・講座申し込み先  
大野市 政策推進課 TEL 0779-64-4824  
※電話申込の受付時間：平日8:30~17:15